

日本の経済学史 目次

はじめに

第1章

江戸時代の経済思想

001

経済学のない経済思想

001

石田梅岩

005

大坂の堂島における米・先物取引

010

熊沢蕃山
横井小楠

008 003

第2章

明治初期と輸入経済学

011

明治維新

011

福沢諭吉

015

自由貿易論対保護貿易論

020

西周と津田真道

012

福沢諭吉の経済学と経済政策

明治初期の経済学研究と教育

025 018

第3章

明治後期と大正初期

032

ドイツ歴史学派

032

社会政策学会

036

第4章

大正後半から昭和初期

マルクス経済思想の導入	039
福田徳三	046
大正前半期の経済学のとめ	053
日本社会政策学会	042
福田のマルクス経済学と社会政策	050

経済学部	056
------	-----

マルクス経済学を巡る論争	069
--------------	-----

マルクス優勢な時代における	075
---------------	-----

非マルクス経済学	075
----------	-----

国家主義経済学者	080
----------	-----

大塚久雄と宇野弘蔵	087
-----------	-----

戦時下の経済学者	095
----------	-----

河上肇	060
-----	-----

講座派と労農派の論争	073
------------	-----

東大経済学部での肅正と派閥抗争	077
-----------------	-----

自由主義一派…河合栄治郎、	085
---------------	-----

大河内一男、安井琢磨	085
------------	-----

新古典派経済学の動向	090
------------	-----

第5章

戦後から四半世紀ほど

近代経済学	100
-------	-----

日本におけるケインズ経済学の導入	108
------------------	-----

ケインズ経済学の登場	104
------------	-----

官庁エコノミストの活躍	111
-------------	-----

第6章

近代経済学とマルクス経済学の相克

152

Ⅰ 数理経済学の目立った近代経済学……152

「近経」「マル経」 152

日本人が数理経済学で

席圈するようになった理由

157

安井琢磨と森嶋通夫・根岸隆の追加事項

163

日本の経済学者の論文は

どこに出現したか

168

数理経済学の歴史

153

日本の数理経済学が貢献した分野

161

一般均衡解の存在

167

経済学者研究における研究発表のディレンマ

170

Ⅱ 戦後のマルクス経済学の隆盛……172

Ⅲ なぜ近代経済学とマルクス経済学は交流がなかったのか……181

マクロ経済計量モデル 115

森嶋通夫 123

根岸隆 127

戦後のマルクス経済学 131

矢内原忠雄 141

マルクス経済学を学んだメリット 146

世界にはばたく日本の数理経済学者 117

宇沢弘文 125

ケインズ以外の近代経済学 129

マルクス経済学はどういう研究をしたか

大河内一男…経済学部への派閥抗争と学問

144 133

日本資本主義の評価 148

第7章

近代経済学の全盛とマルクス経済学の衰退

184

I 近代経済学の全盛期……184

初期のケインズ 184

ケインズ・マクロ経済学と経済政策の定着 188

青木昌彦の日本企業論 192

金融政策について 198

活躍の目立った国際経済学 203

高橋是清と石橋湛山 186

日本の高度成長の評価 190

財政政策について 196

ケインズ経済学支持論の低下 201

大学の経済学者、官庁エコノミスト、

民間のエコノミストの役割

206

II マルクス経済学の退潮……210

マルクス経済学の生き残り作戦 210

東大経済学部での動向 218

日本の大学におけるマルクス経済学の退潮 215

第8章

近代経済学の一人舞台か？

225

社会主義国崩壊のインパクトは

あまりにも大きかった

225

アメリカンP.D.の激増

226

第9章

女性の経済学者

- アメリカの大学教授市場 229
- アメリカンD.H.D.のプレゼンスの
多いことの功罪 235
- 日本経済学会における
アメリカンD.H.D.の影響力 231
- 日本人はなぜノーベル経済学賞を
取れていないのか 239
- 女性の経済学者の少なさ 242
- 女子大学での経済学 247
- 近代経済学ではどうか 253
- 松平友子 244
- マルクス経済学の立場から 250

第10章

経済学者は政策の形成と学問に貢献するか

- 戦争時の経済学者 257
- 竹中平蔵 264
- 平成時代の加藤寛、浜田宏一、橘木俊詔 269
- 八幡・富士製鉄の合併における
近代経済学者の活躍 260
- どの近代経済学者が
どの分野の研究で業績を上げたか 272
- どこの大学が研究業績を示したか 272
- 265

参考文献